

CH 充電

| | | | |
|-------------------------------|-------|-------------------------------------|-------|
| 充電に関する注意事項..... | CH-2 | 急速充電のしかた | CH-12 |
| 雨や雪の中での充電について..... | CH-3 | 便利な充電方法 | CH-14 |
| 立体駐車場や公共駐車場などでの充電について... CH-4 | | タイマー充電 | CH-14 |
| 機械式駐車場での充電について..... | CH-4 | 充電関連のリモート機能について | CH-18 |
| 外出先で充電するときのマナーについて..... | CH-4 | 充電に関わる表示灯について | CH-19 |
| リチウムイオンバッテリー充電の種類と方法..... | CH-5 | 充電インジケータ | CH-19 |
| 普通充電..... | CH-6 | EVSEコントロールボックス表示灯 (LEDランプ) | CH-22 |
| 急速充電..... | CH-6 | 充電トラブルシューティングガイド | CH-23 |
| 充電量の確認方法..... | CH-6 | | |
| 普通充電のしかた..... | CH-8 | | |
| 外出先で普通充電をするときの注意点..... | CH-11 | | |

充電に関する注意事項

警告

- 植え込み型心臓ペースメーカー又は植え込み型除細動器(ICD)などの医療電気機器を使用している方は、充電がそうした機器に及ぼす影響について医療電気機器製造業者に確認してから充電作業を行ってください。
- 植え込み型心臓ペースメーカー又は植え込み型除細動器(ICD)などの医療電気機器を使用している方は、充電中に次のことをお守りください。
 - 車内にとどまらないでください。
 - 物を取るときなどに、ラゲッジルームを含めた車内に入り込まないでください。
- お子さまなど不慣れな方だけで充電作業を行ったり、充電ケーブル(EVSE)を幼児の手の届くところで使わないでください。
- 充電ポート・充電コネクタ・プラグ・コンセントの金属製接点には触れないでください。

- 充電する前に、充電ポート・充電コネクタ・プラグ部分に水分・サビ・腐食がないこと、及び異物が入っていたり、損傷していたりしないことを確認してください。損傷などが見られる場合は、充電を行わないでください。
- 充電ポート又は充電機器の分解・修理・改造は、絶対にしないでください。
- 異臭又は煙など、充電中の異常に気づいたときは、ただちに充電を中止してください。
- 雷が鳴り出したときは、車両及び充電機器には触らないでください。落雷による感電などのおそれがあります。
- 充電中は、モータールーム内の冷却用ファンが突然回転し始める場合があります。手足や衣類・アクセサリー類などが接触したり、巻き込まれたりしないよう注意してください。


注意

- 充電機器の損傷を防ぐために、次の点に注意してください。
 - 充電機器に強い衝撃をあたえないでください。
 - 無理に引っばる・ねじる・折り曲げるなど、ケーブル部分に負担をかけるしないでください。
 - ケーブル部分を踏みつけたり、引きずったりしないでください。
 - 充電機器は、ヒーターなどの温度が高くなるものに近づけないでください。
- 充電終了後は、充電ポートのキャップを必ず閉めてください。キャップを閉めずに充電ポートリッドを閉めると、水やゴミが充電ポートに入って故障の原因となります。
- 車両にボディカバーをかけたまま充電しないでください。(リーフ純正ボディカバーを除く)
- リチウムイオンバッテリーを充電しながら12Vバッテリーにブースターケー

ブルを接続しないでください。車両又は充電機器が破損するおそれがあります。

- 車両を動かすときは、必ず充電コネクタが車両から取り外されていることを確認してください。充電コネクタが根本まで差されておらずロックがかかっていない場合、走行可能状態にできるため、車両が発進して思わぬ事故につながるおそれがあります。

知識：

- 外気温が0°C以下のときは、通常よりも充電時間が長くなったり、リチウムイオンバッテリーの充電量が低下する場合があります。
- 長期間、車両を保管しているとリチウムイオンバッテリーは徐々に放電します。リチウムイオンバッテリーを良好な状態で維持するためには、3ヶ月に1回はロングライフモードで充電してください。ロングライフモードによる充電方法については、 “タイマー充電” (page CH-14)をお読みください。バッテリー残量警告灯が点灯したときは、でき

る限り早く充電してください。

- 充電中は、電源ポジションをONにしてエアコンやナビゲーションシステムを使用できます。ただし、そうした操作によって電力が消費されるため、充電時間は通常よりも長くなります。
- 充電中に停電が発生したときは、電力の復旧と同時に充電も自動的に再開されます。
- リモート機能でエアコンを作動させるときは、リチウムイオンバッテリーの電力を節約するために充電ケーブルを接続しておくことをおすすめします。
- 充電ポートが凍結したときは、ヘアドライヤーなどで解凍してください。凍結したまま充電コネクタを無理に接続しようとすると、故障の原因になります。
- 充電コネクタや充電ポートに異物が入り接続ができなくなったときは、無理に接続せずに日産販売会社にご連絡ください。無理に接続しようとすると、充電装置と車両が破損するおそれがあります。
- 充電ポートには排水用の穴があります。この穴が詰まったりして充電ポート内に水が溜まったときは、充電を行わずに日

産販売会社にご連絡ください。

雨や雪の中での充電について

この車両は、雨や雪の中でも充電できますが、感電や漏電などを防止するために次のことに注意してください。

- ぬれた手でプラグを抜き差ししないでください。また、プラグや充電コネクタもぬれさないように気をつけてください。万が一、プラグや充電コネクタがぬれてしまったときは、布などで水分を拭き取ってください。
- 充電ポートには排水用の穴があります。この穴が詰まったりして充電ポート内に水が溜まったときは、充電を行わずに日産販売会社にご連絡ください。
- 充電中にコンセントの接続部分が雪に埋もれてしまったときは、先にコンセントにつながっている手元スイッチ又はブレーカーを切ってから、雪を除去してプラグを抜いてください。
- 充電中に車両が雪に埋もれてしまった場合も感電の危険はありません。雪を除去してから、充電コネクタを抜いてください。

- 充電終了後は、充電ポートのキャップ及びリッドを速やかに閉め、充電コネクタのキャップも確実に取り付けて、雨や雪が入らないようにしてください。
- 駐車パレット自体が移動、又は回転する駐車場のときは、動作中に充電機器が巻き込まれないように配慮して、充電機器を接続してください。
- 充電終了後は、次の方のためにすみやかに車両を移動させましょう。

立体駐車場や公共駐車場などでの充電について

充電設備の設けられた立体駐車場や公共駐車場など、交通量が多かったり周囲のスペースが狭かったりする場所で充電する場合は、次の点に注意してください。

- 車両走行用の通路側で作業するときは、他の車両に十分に注意してください。
- スペースが狭いときは、充電機器で車両を傷つけないように注意してください。
- 充電機器を接続するときは、他の車両や歩行者の妨げになったり、隣の駐車スペースにはみ出したりしないようにしてください。

機械式駐車場での充電について

充電設備の設けられた機械式駐車場で充電する場合は、次の点に注意してください。

- 充電機器が、駐車場の機械設備に引っかからないように注意してください。
- 充電ケーブル（EVSE）を使うときは、機械式駐車場に車両を入れる前に、ラゲッジルームから充電ケーブル（EVSE）を取り出してください。機械式駐車場の構造によっては、充電ケーブル（EVSE）を取り出せなくなることがあります。
- コンセントボックスや充電器などに扉がついているときは、充電が終了後に必ず閉めるようにしましょう。

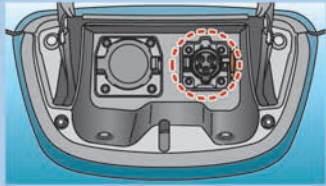

外出先で充電するときのマナーについて

外出先の充電設備で充電する場合、次のことに注意してマナーを守った作業を心がけましょう。

- ことわりなしに他の車両のプラグや充電コネクタを抜いたりしないでください。
- 急速充電が途中で停止したときは、もう一度急速充電器の開始スイッチを押すと充電を再開できますが、次に待っている人がいるときは、追加充電は控えるようにしましょう。
- コンセントボックスや充電器などに扉がついているときは、充電が終了後に必ず閉めるようにしましょう。

リチウムイオンバッテリー充電の種類と方法

この車両には、以下のような充電方法があります。

| 種類 | 充電ポート | 充電コネクタ | 充電ケーブル(EVSE)/充電器 ^{*1} | コンセント形状 | 充電目安時間 ^{*2} |
|----------------|---|---|---|---|----------------------|
| 普通充電 (200V) |  |  |  200V用充電ケーブル(EVSE) |  | 満充電まで 約8時間 |
| 急速充電 |  |  |  急速充電器 | | 充電量80%まで 約30分 |
| 普通充電 (100V) |  |  |  100V用充電ケーブル(EVSE) ^{*3} |  | 満充電まで 約28時間 |

*1: ここに表示した充電機器は、あくまで一例です。

*2: 充電時間は、外気温やリチウムイオンバッテリーの残量などにより変化します。ここに表示されている数値は、外気温が25℃でリチウムイオンバッテリー残量警告灯が点灯した時点からの目安です。

*3: 普通充電(100V)に使用する充電ケーブル(EVSE)は、標準装備ではありません。お買い求めになるときは、日産販売会社にご相談ください。

リーフは電気自動車です。この車両はあらかじめリチウムイオンバッテリーに蓄えられた電気を使用して走行するため、走行時はエコドライブを心がけ、充電プランを立てることが重要です。

リチウムイオンバッテリーの充電方法には次の2種類があります。

- 普通充電
- 急速充電

リチウムイオンバッテリーの充電にかかる所要時間は、リチウムイオンバッテリーの充電状態、経年数、温度、接続した電源の状態によって異なります。本書に記載されている充電時間はあくまでも、目安であり、これらの条件によって変化することがあります。

普通充電

主にご家庭で日常的に行う充電を普通充電といえます。

リチウムイオンバッテリーの寿命を長持ちさせるには、急速充電は必要最小限にして、極力普通充電で充電することをおすすめします。

普通充電では、AC200VまたはAC100Vの電源を使用し、リチウムイオンバッテリー残量警告灯が点灯してから満充電までAC200Vの場

合で約8時間かかります。特別な場合を除き、充電時間が短く実用的なAC200Vのご使用をおすすめします。

普通充電には、車両のラゲッジルームに搭載された日産純正充電ケーブル（EVSE）を使用してください。また、電源には、工事ガイドの基準に沿ったブレーカー付きの専用回路を使用してください。📖 “普通充電のしかた”（page CH-8）をお読みください。

急速充電

日産リーフには、CHAdeMO（チャデモ）仕様の急速充電器が使用できます。（CHAdeMOとは、日本の電気自動車用急速充電規格です。）

外出先の充電施設に設置された急速充電器を使用して、短時間で行うことのできる充電を急速充電といいます。

週に1回以上の頻度で急速充電を行う場合は、充電量が80%以下での充電を行ってください。

急速充電では、バッテリー残量警告灯が点灯してから充電量80%まで約30分かかりません。📖 “急速充電のしかた”（page CH-12）をお読みください。

充電量の確認方法

充電量の確認方法は、以下の3種類があります。

- パワースイッチを押して電源ポジションをONにしたときに、メーターのリチウムイオンバッテリー残量計で確認する。📖 “リチウムイオンバッテリー残量計”（page 2-8）をお読みください。
- 携帯電話又はパソコンで確認する。詳しくは、ナビゲーションシステム取扱説明書をお読みください。
- 充電インジケータで確認する。📖 “ZE0-01-449530B-3F-1A-E27-A1FB30” このセクションの後頁をお読みください。

知識：

- 充電中は、パワースイッチを押して電源ポジションをONに切り替えても充電は継続されます。
- 急速充電コネクタと普通充電コネクタを同時に接続すると、充電できなくなります。充電途中に別の充電コネクタを接続すると、充電は中止されます。

- 安全のために、充電コネクタ接続中は走行可能状態に切り替えることはできません。
- 充電中は、電源ポジションをONにして、セレクトレバーを操作してもP（パーキング）から切り替えることはできません。
- 充電コネクタが接続されていても充電が行われていなければ、電源ポジションがONでセレクトレバーを操作して、P（パーキング）とN（ニュートラル）での切り替えのみできます。
- 充電中は、電磁波によるノイズのためにラジオが聞こえなくなることがありますが異常ではありません。

普通充電のしかた

警告

- 日産自動車推奨する電源回路ガイドラインに基づいた工事を行ってください。推奨の電源回路を使わない場合、配線の異常過熱、ブレーカーによる電気回路の遮断、他の電気機器への悪影響などが発生することがあります。ガイドラインについては、日産自動車のホームページをお読みください。
- 感電又は短絡火災を防ぐために、漏電しゃ断器の設置されたEV/プラグインハイブリッド充電用コンセント（防雨型、ふたロック機構付き）を使用してください。
- 感電のおそれがあるため、ぬれた手でプラグを抜き差ししないでください。
- 火災などのおそれがあるため、延長ケーブルや変換アダプターなどは絶対に使用しないでください。



注意

- 充電ケーブル（EVSE）は、必ず日産純正品を使用してください。それ以外の機器を使用すると、リチウムイオンバッテリーが正常に充電されず、故障などの原因となります。
- 発電機などは絶対に使用しないでください。電力の著しい変化などで車両が故障するおそれがあります。
- 充電ケーブル（EVSE）の分解・修理・改造は、絶対にしないでください。
- 充電ケーブル（EVSE）の破損などを防ぐために、次の点に注意してください。
 - コントロールボックスを水につけないように注意してください。
 - コントロールボックスに強い衝撃を与えたり、落としたりしないように注意してください。
 - 無理に引っ張る・ねじる・折り曲げるなど、ケーブル部分に負担をかけないでください。
 - ケーブル部分を踏みつけたり、引きずったりしないでください。

— 充電ケーブル（EVSE）は、ヒーターなどの温度が高くなるものの近くに置かないでください。

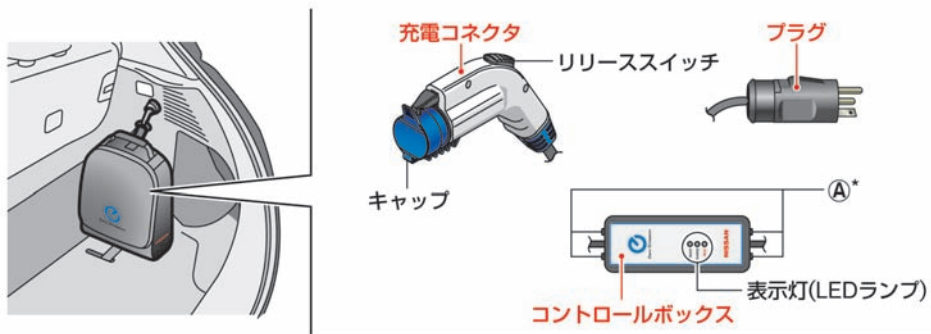
— 充電ケーブル（EVSE）は、周囲の温度が85℃以上になる場所では保管・使用しないでください。

- 充電ケーブル（EVSE）が破損しているときは、充電を行わないでください。

- 普通充電は、充電施設に設置された普通充電器又は、ラゲッジルームに収納された充電ケーブル（EVSE）をAC200V又はAC100VのEV/プラグインハイブリッド充電用コンセントに接続して行います。
- 充電ケーブル（EVSE）は、車両と通信してリチウムイオンバッテリーの充電を行います。充電ケーブル（EVSE）以外の充電器を使用すると、この通信が正常に行われず、充電が正しく行われぬおそれがあります。
- 普通充電では、タイマー充電、リモート充電を行うことができます。  “タイマー充電”（page CH-14）及び  “充電関連のリモート機能について”

(page CH-18)をお読みください。

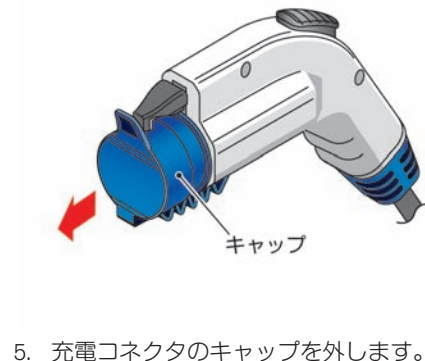
普通充電を開始するには：



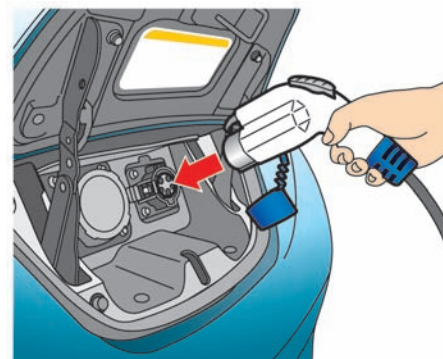
1. パワースイッチを押して電源ポジションをOFFにします。電源ポジションがONのときは、充電が開始されません。
2. 充電ポートリッドを開きます。📖 “充電ポート” (page 3-17)をお読みください。
3. ラゲッジルームから充電ケーブル(EVSE)を取り出します。
4. プラグをAC200V又はAC100VのEV/プラグインハイブリッド充電用コンセントに接続します。正常に接続されると、コントロールボックスの全ての表示灯が点灯したあと、緑色の表示灯が点灯しま

す。📖 “EVSEコントロールボックス表示灯(LEDランプ)” (page CH-22)をお読みください。

*：イラストのⒶの穴にひもなどを通して、コントロールボックスを壁にかけることができます。



5. 充電コネクタのキャップを外します。



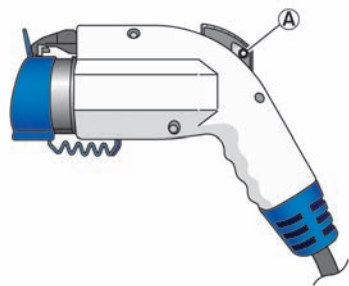
6. 普通充電ポートのキャップを開き、充電コネクタを普通充電ポートにロックがかかるまでまっすぐに差し込みます。正常

に接続されると、ブザーが1回鳴ります。

7. 充電が開始されるか、タイマー充電の待機状態になると、ブザーが2回鳴って充電インジケータの表示が変化します。🔌 “充電インジケータ” (page CH-19)をお読みください。

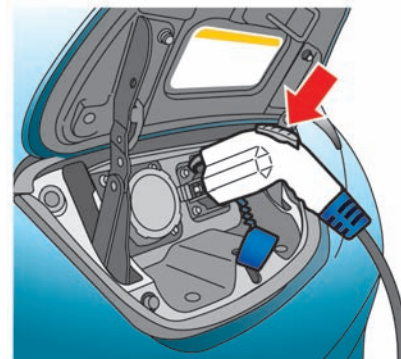
充電中の注意点：

- 充電を途中でやめたいときは、充電コネクタを抜き取ってください。充電は自動的に中止されます。
- 充電中は充電ケーブル (EVSE) が温かくなりますが、異常ではありません。



- 屋外の駐車場などで充電を行うときは盗難防止のため、充電コネクタを接続してからⒶの位置に南京錠を取り付けることをおすすめします。この部分に南京錠を取り付けることで、充電コネクタを車両から取り外すことができなくなります。南京錠については、日産販売会社にご相談ください。
- いたずらや盗難防止のため、充電中に車両を離れるときは必ずドアを施錠してください。コンセントボックスなどに鍵が付いている場合も施錠することをおすすめします。

普通充電を終了するには：



1. 充電コネクタのリリーススイッチを押してロックを解除しながら手前に引いて、充電コネクタを普通充電ポートから取り外します。
2. 普通充電ポートのキャップを閉めてから、充電ポートリッドを閉めます。
3. キャップを充電ケーブル (EVSE) に取り付けます。



4. コンセントからプラグを抜き取り、充電ケーブル(EVSE)をケースに収納します。

知識:

EVSE（電気自動車用充電ケーブル）をケースに収納する際には、次の手順に従ってください。

1. ケーブル部分をケースに収まる大きさ（直径約25cm）で巻きます。
2. コントロールボックスをケースの底面に差し込みます。
3. ケーブル部分と充電コネクタをコントロールボックスの手前側に入れて、ふたを閉めます。

外出先で普通充電をするときの注意点

外出先での普通充電には、通常通り充電ケーブル（EVSE）をコンセントに接続するタイプと、充電コネクタ部分までが一体になった普通充電器が設置されているタイプがあります。これらを使って充電する場合は次の点に注意してください。

- 充電作業がしやすく、かつ安全に作業できるように、車両の充電ポートと電源又は普通充電器の位置を考慮した向きで駐車をしてください。
- タイマー充電が設定されているときは、即充電スイッチを押してタイマー充電を一時的にOFFにしてから、車両に充電コネクタを接続しなければならないことがあります。
- コンセントを使用するときは、200V及び100Vともに専用配線に接続されたEV/プラグインハイブリッド充電用コンセントを使用してください。
- 普通充電器の一部は、リーフに対応していないことがあります。ご使用になる前に、リーフに対応していることを充電器本体に表示された操作案内で確認するか、管理者にお問い合わせください。ま

た、リーフに対応しているときは、充電器本体に表示された操作手順にしたがって作業してください。

急速充電のしかた

ここでは急速充電の手順の一例を説明しており、急速充電器の種類によっては手順が異なる場合があります。必ず急速充電器本体に表示された手順をご確認ください。

急速充電は、充電施設に設置された急速充電器を利用して短時間でリチウムイオンバッテリーを充電できます。

この車両には、CHAdeMO（チャデモ）仕様の急速充電器が使用できます。（CHAdeMOとは、日本の電気自動車用急速充電規格です。）

警告

- 必ずリーフに対応した急速充電器を使用してください。対応していない急速充電器を使用すると、火災や故障などのおそれがあります。

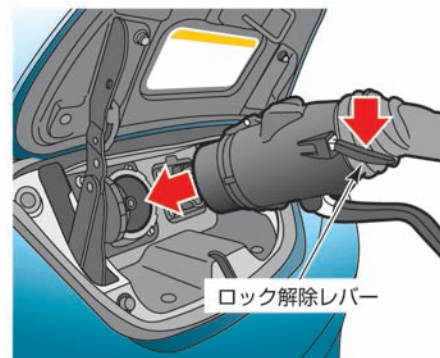
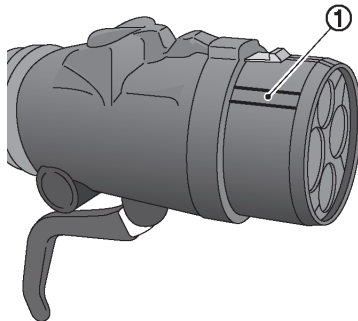
注意

- 急速充電コネクタは普通充電コネクタよりも重いため、落下させるとケガをしたり、車両又は急速充電コネクタを破損したりするおそれがあります。取り扱いには十分に注意してください。

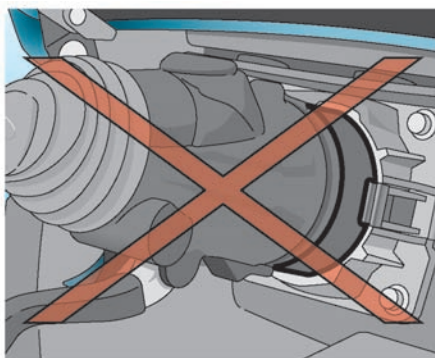
- 必ず急速充電器本体の取扱説明を確認してから、作業を行ってください。間違った操作を行うと、車両又は急速充電器を破損するおそれがあります。

急速充電を開始するには:

- パワースイッチを押して電源ポジションをOFFにします。電源ポジションがONのときは、充電が開始されません。
- 充電ポートリッドを開きます。① “充電ポート” (page 3-17) をお読みください。

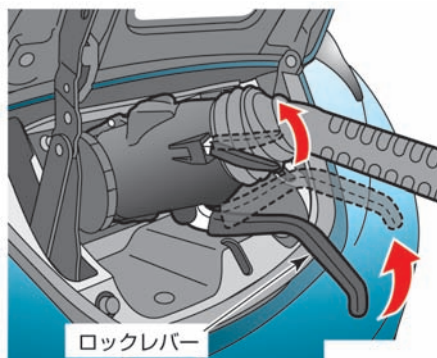


- 急速充電ポートのキャップを開け、イラストの①を急速充電ポートの溝に合わせて、ロック解除レバーを押しながら急速充電コネクタを差し込みます。



⚠ 注意

急速充電コネクタを差し込むときは、急速充電ポートに対してまっすぐに根本まで差し込んでください。急速充電コネクタが根元までさし込まれないまま充電を開始すると、リチウムイオンバッテリーが充電されなかったり、充電機器が破損するおそれがあります。



4. ロックレバーをカチッと音がするまで握ってください。ロック解除レバーが上がって急速充電コネクタがロックされません。
5. 急速充電コネクタが確実にロックされていることを確認してから、急速充電器に表示されている手順に従い充電を開始します。正常に充電が開始するとブザーが2回鳴り、インストルメントパネル上の充電インジケータの表示が変わります。🔊 “充電インジケータ” (page CH-19)をお読みください。
次の場合は充電が終了します。
 - 充電が完了したとき。

- 充電時間が60分を経過したとき。
- 急速充電器に設定されている充電終了時間になったとき。

知識：

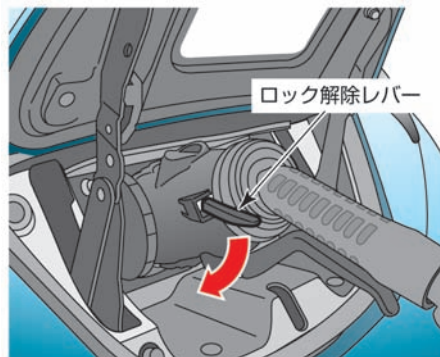
- 急速充電は、充電開始時のリチウムイオンバッテリーの残量や気温などにより、充電量が100%になる前に充電完了となる場合があります。
- 途中で充電が停止したときは、急速充電器の開始スイッチを再び押し、充電を再開できます。
- 充電中は、急速充電コネクタが急速充電ポートにロックされるため、急速充電コネクタを外すことができません。途中で充電をやめるときは、急速充電器に表示されている手順に従って充電を停止し、充電インジケータで充電が中止されたことを確認してください。充電が中止されると、急速充電コネクタを車両から取り外しできるようになります。
- リチウムイオンバッテリーの容量が低下している場合や温度が低い場合は、満充電になっても急速充電器のパネルに表示されている充電量が100%にならないこ

とがあります。

- 急速充電は、満充電付近になると充電される速度が遅くなります。

充電を終了するには：

1. インストルメントパネル上の充電インジケータまたは急速充電機本体の表示で、充電が停止していることを確認してください。



2. ロック解除レバーを押しながら、急速充電コネクタを車両から取り外します。
3. 急速充電ポートのキャップを閉めます。
4. 充電ポートリッドを閉めます。

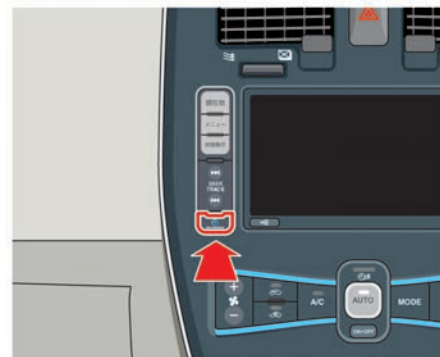
便利な充電方法


タイマー充電

普通充電にはタイマー機能があり、充電を行う時間帯をあらかじめ予約しておくことができます。この機能により、あらかじめ予約した時刻に充電の開始・停止を自動的に行うことができます。

この機能は、充電の開始時刻と停止時刻の設定を、あらかじめ2種類登録しておくことができます。また、設定した2種類の時刻について、どちらの時間帯に充電するかを曜日ごとに選択して予約することができます。

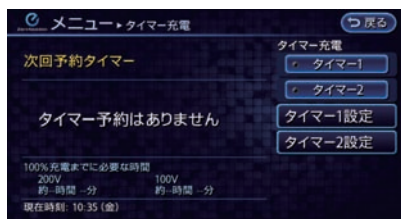
各曜日に予約した時刻は、次の週にも継続され続けるため、再設定する必要はありません。



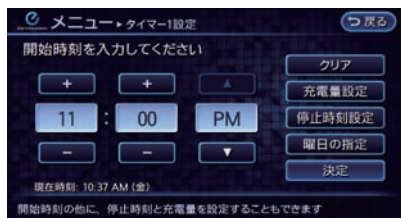
1. Zero Emission (ゼロエミッション) スイッチ  を押します。



2. [タイマー充電]をタッチします。




3. [タイマー1設定]又は[タイマー2設定]をタッチします。



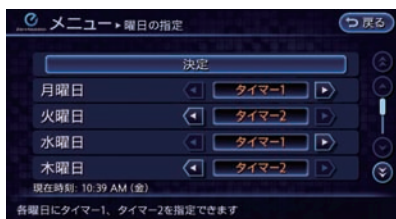
4. 開始時刻を入力します。

[充電量設定]をタッチすると、充電量を100%充電又は80%充電から選べます。

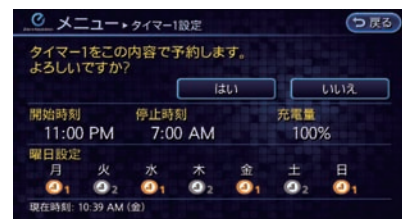
知識：

80%充電はロングライフモードともいいます。普段からロングライフモードを使用すると、リチウムイオンバッテリーの性能低下を抑制する効果があります。詳しくは、 “ロングライフモードについて” (page CH-16)をお読みください。

[停止時間設定]をタッチして、タイマー充電の停止時刻を設定します。



5. [曜日の指定]をタッチして、曜日ごとに作動させたい設定を選んでから、[決定]をタッチします。
6. [決定]をタッチすると、確認画面が表示されます。





7. [はい]をタッチします。
設定が保存され、表示灯が点灯します。
8. パワースイッチを押して電源ポジションをOFFにして、充電コネクタを接続します。

知識：

- タイマー充電を予約したあとは、必ずパワースイッチを押して電源ポジションをOFFにしてください。電源ポジションがONになっていると、予約した充電開始時刻になっても充電は開始されません。
- タイマー充電は、充電開始時刻と充電停止時刻の両方又はどちらか一方を入力して設定することができます。
 - 充電開始時刻と充電停止時刻の両方を入力したときは、その時間帯のみ充電が行われます。設定した時間帯が必要充電時間より短いと、指定した充電量

まで充電されないことがあります。

- 充電開始時刻のみを入力したときは、その時刻から充電を開始して指定の充電量になるまで充電を続けます。充電開始時刻を過ぎてから充電コネクタを車両に接続すると、次回の充電開始時刻まで充電は開始されません。すぐに充電をしたい場合は、即充電又はリモート充電をお使いください。  “即充電スイッチ” (page CH-17) 及び  “充電関連のリモート機能について” (page CH-18) をお読みください。
- 充電停止時刻のみを入力したときは、その時刻までに指定した充電量となるように充電開始時刻が自動的に設定されます。充電コネクタを車両に接続したときから充電停止時刻までの時間が短いと、接続後すぐに充電が開始しますが、その場合は指定した充電量にならないことがあります。また、指定時刻よりも早めに充電を停止することがありますが異常ではありません。
- タイマー充電を解除するには、[タイマー1]又は[タイマー2]をタッチします。表示灯が消灯して予約が解除されます。予約

を解除しても設定した時刻、曜日、充電量は消去されません。

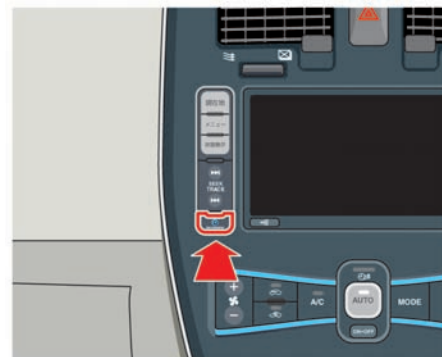
- タイマー充電とタイマーエアコンが両方作動したときは、どちらかの機能を優先するように設定できます。詳しくは、ナビゲーションシステム取扱説明書をお読みください。
- 充電施設によっては、時間帯によって電源をON/OFFするタイマー機能を持つものがあります。このような充電施設で充電を行う場合は、充電施設の電源がONになっている時間内でタイマー充電時刻を設定するようにしてください。
- 充電中は、タイマー充電の設定は変更できません。充電中にタイマー充電の設定を変更すると、変更内容は次回の予約から反映されます。


ロングライフモードについて

タイマー充電で充電をするとき、充電量80%で充電することをロングライフモードと言います。

リチウムイオンバッテリーの寿命が短くなることを防ぐために、普段の充電はロングライフモードで充電することをおすすめします。

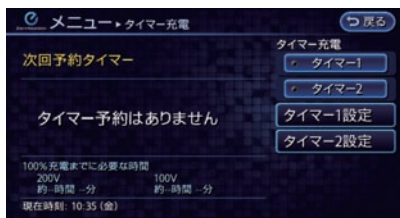
設定のしかた：



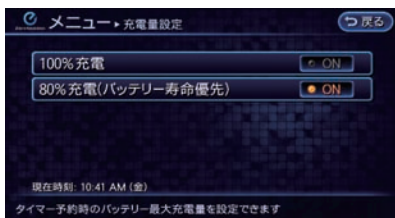
1. Zero Emission (ゼロエミッション) スイッチ  を押します。



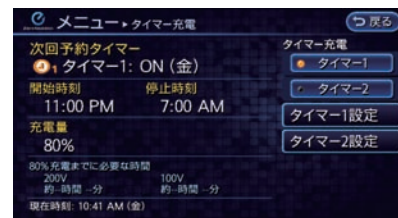
2. [タイマー充電]をタッチします。



3. [タイマー1設定]又は[タイマー2設定]をタッチします。



5. [80%充電(バッテリー寿命優先)]をタッチすると表示灯が点灯します。



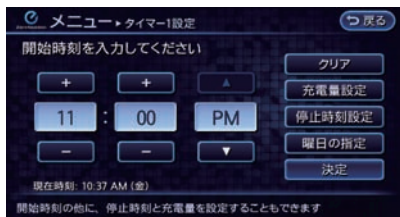
9. ロングライフモードに設定した次回の予約から充電量が80%になります。

即充電スイッチ

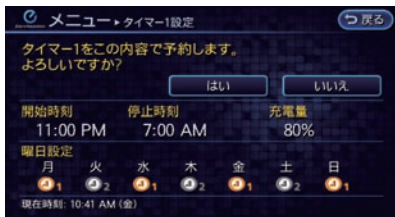
タイマー充電の予約がされていないときは、充電ケーブル(EVSE)を車両に接続すると自動的に充電が開始されます。

タイマー充電の予約が設定されているときに、すぐに充電を行いたい場合は、以下の手順で即充電を開始してください。

1. パワースイッチを押して、電源ポジションをOFFにします。



4. [充電量設定]をタッチします。



7. 全ての設定を完了後、[決定]をタッチすると確認画面が表示されます。

8. 確認画面に表示された内容に問題がない場合は、[はい]をタッチします。



2. 即充電スイッチを押します。

3. 充電インジケーターが即充電受け付け状態に切り替わったあと、充電ケーブル (EVSE) を車両に接続します。

知識：

- 即充電スイッチを押すと約15分間、即充電受け付け状態になります。
- 即充電受け付け状態を取り消すときは、もう一度即充電スイッチを押します。
- 即充電開始後に車両から充電ケーブル (EVSE) を取り外すと、充電が停止し、自動的にタイマー充電に切り替わります。再度、即充電を行うには、もう一度即充

電スイッチを押してから充電ケーブル (EVSE) を車両に接続します。

充電関連のリモート機能について

この車両には、TCU (テレマティクス・コミュニケーション・ユニット) と呼ばれる通信機器が搭載されています。このTCUが日産カーウイングスデータセンターと通信することによって、様々なリモート機能サービスを利用することができます。

- バッテリー状態チェック：

パソコン又は携帯電話から、ウェブサイトからリチウムイオンバッテリーの残量や航続可能距離などの確認ができます。

- リモート充電：

パソコン又は携帯電話から、リチウムイオンバッテリーの充電を開始できます。

- プラグ挿し忘れ通知：

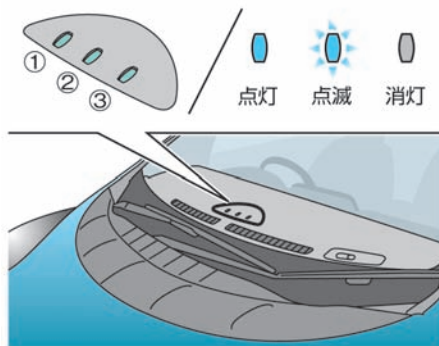
あらかじめ登録してある場所 (5か所) で電源ポジションをOFFにしたあと、一定の時間後に充電ケーブル (EVSE) が接続されていない場合は、パソコン又は携帯電話にメールでお知らせがきます。

知識：

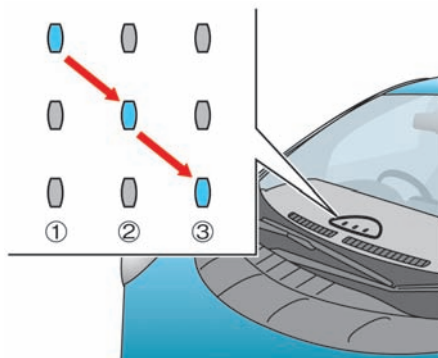
- 上記のサービスを利用するには、カーウイングスサービスに申し込む必要があります。詳しくは、ナビゲーションシステム取扱説明書をお読みください。
- 上記のサービスを利用するには、次の条件が満たされている必要があります。
 - 車両が携帯電話の通信圏内に入っている。
 - ご利用になるパソコン又は携帯電話がインターネットに接続可能な状態になっている。
- ご利用の携帯電話の機種によっては、上記のサービスがご利用できない場合がありますので、事前にご確認ください。

充電に関わる表示灯について

充電インジケータ

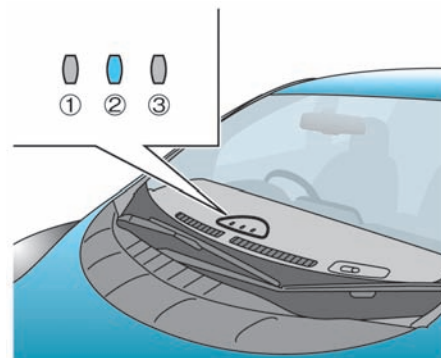


充電コネクタが車両に接続されているときは、①～③の充電インジケータの点灯のしかたで、充電状態が車内外から確認できます。



タイマー充電受け付け状態：

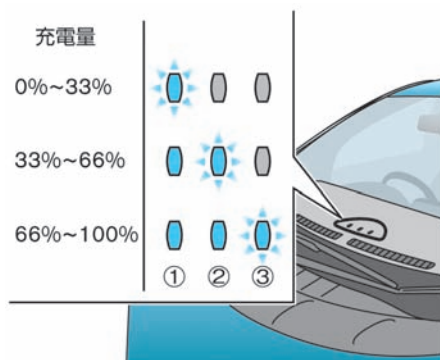
タイマー充電が予約されているときに電源ポジションをOFFにしてから充電ケーブル（EVSE）を接続すると、充電インジケータは①から③の順に点灯します。充電ケーブル（EVSE）を接続してから約15分後に自動的に消灯します。



即充電受け付け状態：

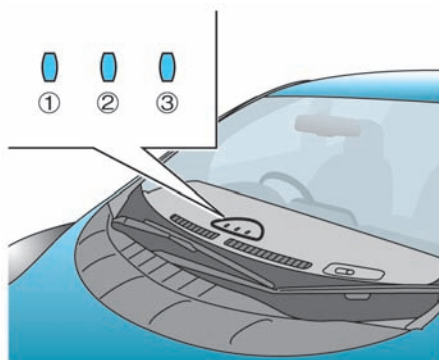
充電ケーブル(EVSE)が接続されていないときに、電源ポジションをOFFにして即充電スイッチを押すと②のインジケータが点灯します。

15分以内に充電ケーブル(EVSE)を接続しないと、インジケータは自動的に消灯して即充電受け付け状態ではなくなります。もう一度、即充電受け付け状態にしたいときは、再度即充電スイッチを押してください。



充電時：

充電中は、リチウムイオンバッテリーの充電量に応じて、充電インジケータの点灯数が①から順番に増えていきます。

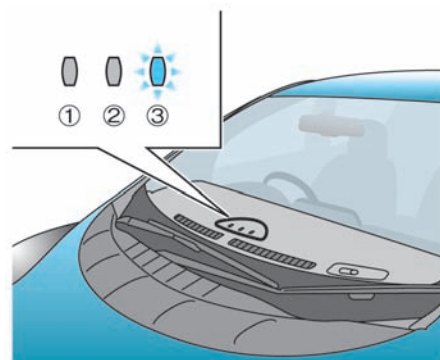


充電完了時：

以下の場合すべてのインジケータが点灯します。

- リチウムイオンバッテリーが満充電になったとき。
- 急速充電が完了したとき。
- タイマー充電で80%充電が完了したとき。

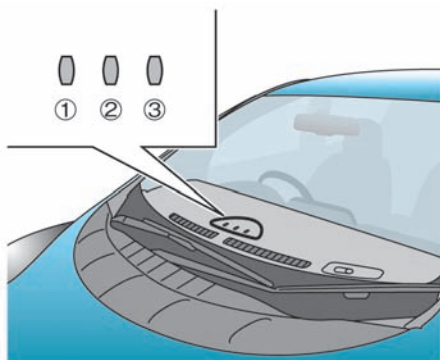
充電インジケータは、約15分後又は充電コネクタを外すと消灯します。



12Vバッテリー充電時：

12Vバッテリーを充電しているときは、インジケータ③が点滅します。

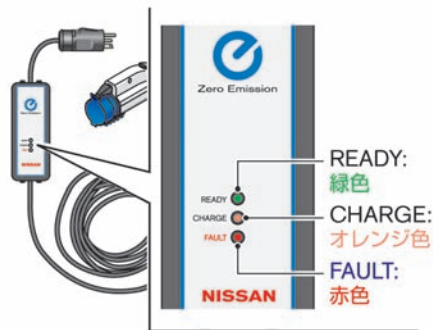
（12Vバッテリーはオーディオ、ワイパー、照明システムなどに電力を供給しています）



充電していないとき：

リチウムイオンバッテリーが充電されていないときは、インジケーターは点灯しません。

EVSEコントロールボックス表示灯 (LEDランプ)



充電ケーブル(EVSE)を使用して充電しているときは、コントロールボックスにある表示灯(LEDランプ)で充電の状態や故障について確認できます。

| READY | CHARGE | FAULT | 状態及び必要な対応 |
|-------|--------|-------|--|
| ○ | ○ | ○ | 充電ケーブル(EVSE)のプラグをコンセントに接続するたびに、全ての表示灯が約0.5秒点灯します。 |
| ○ | ● | ● | 初期処理が完了したあと、充電ケーブル(EVSE)を車両に接続していないか、車両に接続していても充電は行われていないことを示します。 |
| ○ | ○ | ● | リチウムイオンバッテリーが充電されていることを示しています。 |
| ○ | ● | ◎ | 漏電しているか、充電ケーブル(EVSE)が故障している。すみやかに使用を中止し、日産販売会社にご連絡ください。 |
| ○ | ● | ○ | 充電ケーブル(EVSE)が故障している。すみやかに使用を中止し、日産販売会社にご連絡ください。 |
| ● | ● | ● | コンセントのブレーカーがオフになっているか、充電ケーブル(EVSE)が故障している。コンセントに電源がきているにもかかわらず、プラグをコンセントに接続しても表示灯が点灯しないときは、すみやかに使用を中止し、日産販売会社にご連絡ください。 |

| 意味 | 点灯 | 点滅 | 消灯 |
|----|----|----|----|
| 記号 | ○ | ◎ | ● |

充電トラブルシューティングガイド

充電ができないなど、充電の作業中に困ったときは以下の表をお読みください。ここにある項目を確認しても問題が解決できないときは、車両又は充電機器の故障の可能性がありますので、日産販売会社へご連絡ください。

| 症状 | 原因 | 対処法 |
|------------|-------------------------------|---|
| 充電ができない。 | 車両の電源ポジションがONになっている。 | パワースイッチを押して、電源ポジションをOFFにしてください。 |
| | 普通充電コネクタと急速充電コネクタが同時に接続されている。 | どちらかの充電コネクタを取り外してください。 |
| | すでに満充電になっている。 | すでに満充電になっているときは、充電が行われません。 |
| | リチウムイオンバッテリーの温度が極端に高い、又は低い。 | メーターのリチウムイオンバッテリー温度計を確認してください。リチウムイオンバッテリーの温度が赤色又は青色の範囲に入っているときは、充電できなくなることがあります。 |
| | 12Vバッテリーがあがっている。 | 電源ポジションをONにしてもメーターなどが点灯しない場合は、12Vバッテリーがあがっている可能性があります。12Vバッテリーを充電するか交換してください。 |
| 普通充電ができない。 | コンセントまで電力がきていない。 | 漏電遮断機が作動していたり、停電していたりしないか確認してください。なお、電源にタイマー機能がついている場合、電源に設定されている時間帯までは、コンセントに電力が供給されないものもあります。また、立体駐車場の場合、駐車バレットが完全に格納されるまでの間やエレベーターの作動中は、電力が遮断されるものがあります。 |
| | プラグがコンセントに正しく接続されていない。 | プラグがコンセントに正しく接続されているか確認してください。 |
| | 充電コネクタが正しく接続されていない。 | 充電コネクタが正しく接続されているか確認してください。 |
| 即充電ができない。 | タイマー充電が設定されている。 | タイマー充電を解除してから充電コネクタを接続するか、即充電スイッチを押して即充電を開始してください。 |

| 症状 | 原因 | 対処法 |
|--------------|---|---|
| タイマー充電ができない。 | 充電ケーブル（EVSE）の接続し忘れている。 | あらかじめ充電ケーブル（EVSE）を接続してください。 |
| | ナビゲーションシステムの時計がずれている。 | ナビゲーション画面の時計の時刻が正しいか確認してください。 なお、交換作業などで12Vバッテリーの脱着をしたあとは、GPSとの通信が行われるまでの間、時刻が設定されません。 |
| | タイマー充電の予約が設定されていない。 | タイマー充電が設定されていないときは、即充電が開始されます。タイマー充電の時刻・曜日を設定してください。 |
| | 充電開始時刻/充電停止時刻の両方が設定されていて、充電開始時刻前又は充電停止時刻後である。 | タイマー充電の設定時刻と現在の時刻を確認し、状況に応じて時刻を設定しなおしたり、即充電を行ったりしてください。 |
| | 充電開始時刻のみを設定していて、その時刻を過ぎてしまっている。 | |
| | 充電停止時刻のみを設定していて、その時刻を過ぎてしまっている。 | |
| | 充電量を80%に設定していて、すでに充電量が80%を超えてしまっている。 | すでに80%を超えているときは、充電は開始されません。充電が必要な場合は、100%に設定を変えるか即充電を行ってください。 |
| リモート充電ができない。 | 充電ケーブル（EVSE）が接続されていない。 | あらかじめ充電ケーブル（EVSE）を接続してください。 |
| | 通信ができていない。 | 携帯電話をお使いの場合は、通信圏外になっていないか確認してください。 パソコンをお使いの場合は、インターネットの接続状態を確認してください。 |
| | | 車両が通信圏外にあるときも通信ができません。 |
| | | 2週間以上電源ポジションがOFFにされたままだと、リモート機能は自動的にOFFとなります。いったん電源ポジションをONにしてください。 |

| 症状 | 原因 | 対処法 |
|------------------|---------------------------------|--|
| 普通充電が途中で止まってしまふ。 | コンセントまで電力がきていない。 | 充電中に漏電遮断器が作動したり、停電が起きたりした可能性があります。この場合、電力が復帰すると自動的に充電も再開されます。 |
| | 充電ケーブル（EVSE）が抜けてしまっている。 | 充電ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 |
| | 充電コネクタのリリーススイッチが押されている。 | 充電コネクタのリリーススイッチがしばらく押されたままになっていると、充電が停止します。 |
| | 普通充電コネクタと急速充電コネクタが同時に接続されてしまった。 | どちらかの充電コネクタを取り外してください。 |
| | タイマー充電の充電停止時刻になった。 | 充電停止時刻が設定されている場合は、指定した充電量まで充電できていなくても充電は停止します。 |
| | リチウムイオンバッテリーの温度が極端に高い、又は低い。 | メーターのリチウムイオンバッテリー温度計を確認してください。外気温の変化などで、充電中にリチウムイオンバッテリーの温度が赤色又は青色の範囲に入ってしまったときは、充電が停止することがあります。 |
| 急速充電ができない。 | 急速充電コネクタが正しく接続されていない。 | 急速充電コネクタが正しく接続され、なおかつロックがかかっていることを確認してください。 |
| | 急速充電器のセルフチェック機能でNGになってしまった。 | 車両故障の可能性がります。ただちに充電を停止して、日産販売会社にご連絡ください。 |
| | 急速充電器の電源がOFFになっている。 | 急速充電器の電源がONになっていることを確認してください。 |

| 症状 | 原因 | 対処法 |
|------------------|---------------------------------|---|
| 急速充電が途中で止まってしまう。 | 急速充電のタイマーで終了している。 | 急速充電器本体には、一定時間で充電が停止するようにタイマーが設定されていることがあり、この時間が経過した場合は充電が停止されます。さらに充電したいときは、もう一度充電開始操作を行ってください。 |
| | | 急速充電の時間は最大で60分に設定されており、この時間が経過した場合は自動的に充電が停止されます。さらに充電したいときは、もう一度充電開始操作を行ってください。 |
| | 充電量が90%付近になった。 | リチウムイオンバッテリーの充電残量が半分以下から充電を開始した場合、リチウムイオンバッテリーに負担をかけないように、充電量が90%付近で停止することがあります。さらに充電したいときは、もう一度充電開始操作を行ってください。 |
| | 急速充電器の電源が何らかの理由でOFFになってしまった。 | 急速充電器の電源がOFFになっていないか確認してください。 |
| | 普通充電コネクタと急速充電コネクタが同時に接続されてしまった。 | どちらかの充電コネクタを取り外してください。 |
| | リチウムイオンバッテリーの温度が極端に高い、又は低い。 | メーターのリチウムイオンバッテリー温度計を確認してください。外気温の変化などで、充電中にリチウムイオンバッテリーの温度が赤色又は青色の範囲に入ってしまったときは、充電が停止することがあります。 |